



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月30日

上場会社名 GCAサヴィアン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2174 URL http://www.gcasavvian.com
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 渡辺 章博
 問合せ先責任者 (役職名) IR室リーダー (氏名) 加藤 雅也 TEL 03-6212-7100
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

百万円未満切捨て

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	9,607	△48.2	2,565	△31.8	2,547	△33.4	1,516	81.3
25年12月期第3四半期	18,549	136.9	3,764	76.4	3,826	76.7	836	28.3

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 1,609百万円 (△53.5%) 25年12月期第3四半期 3,464百万円 (120.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	57.34	57.16
25年12月期第3四半期	31.39	31.09

(注) 連結範囲の変更：25年12月期第3四半期は、投資事業有限責任組合を連結の範囲に含んだ数値ですが、26年12月期第3四半期は、当該投資事業有限責任組合を連結の範囲から除外した数値です。

25年12月期第3四半期を26年12月期第3四半期と同様に投資事業有限責任組合を連結の範囲から除外した数値（連結範囲変更後）として比較した場合、売上高（前年同期比38.1%増）、営業利益（同96.4%増）、経常利益（同86.3%増）、四半期純利益（同81.3%増）のいずれにおいても前年同期比で大幅に増加いたしました。

連結の範囲の変更に関する詳細は、「1. 当四半期決算に関する定性的情報」及び「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」を参照ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第3四半期	11,840	7,815	60.6	274.72
25年12月期	16,836	14,419	38.0	240.11

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 7,169百万円 25年12月期 6,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	5.00	—	8.00	13.00
26年12月期	—	5.00	—	—	—
26年12月期（予想）	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

当社の主要事業であるM&Aアドバイザー事業は、経済環境、株式市況、各国の政治等、さまざまな要因に影響されます。特に大型案件のクローズのタイミングにより業績が大きく変動することから、業績予想の開示は控えさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
当社グループが出資するMCo1号投資事業有限責任組合、MCo2号投資事業有限責任組合及びMCo3号投資事業有限責任組合については、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。詳細は、「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」を参照ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期3Q	26,198,324株	25年12月期	28,673,300株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	101,032株	25年12月期	2,000,076株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期3Q	26,453,103株	25年12月期3Q	26,659,415株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界のM&A市場は、取引金額ベースでは前年同期比で6.8%の大幅増となりました。特に米国市場においては24.1%増加しております。一方、日本のM&A市場は取引金額ベースでは前年同期比で9.9%の減少となりました（以上、完了案件ベース、トムソンロイター調べ）。

このような市場環境の下、当社グループの米国拠点における大型案件のクロージングが増加したことにより、当第3四半期（3か月）におけるアドバイザー事業の売上高は3,492百万円となり、過去最高の四半期売上高となりました。なお、日本M&A市場の平成26年第3四半期は件数ベースで第6位、金額ベースで第8位（マージャーマーケット調べ）にランクインしました。また、当社子会社である株式会社メザニンが運営するファンドにおいて投資回収が進んだ結果、成功報酬が発生しております。

こうした経営環境の中で、クライアントにとって最善のM&A案件を提案・実行する機能を強化し、今後益々増加が予想されるクロスボーダー案件に対応するため、日・米両拠点においてはシニアバンカーの採用を積極的に行っております。

なお、第1四半期決算では連結範囲につき重要な変更がありました。当社グループ出資のMCo1号投資事業有限責任組合、MCo2号投資事業有限責任組合及びMCo3号投資事業有限責任組合（以下、ファンド）については、「投資事業組合に対する支配力基準及び影響力基準の適用に関する実務上の取扱い」（企業会計基準委員会実務対応報告第20号）により、実質的に支配していると判定され、2013年12月期まで連結子会社としておりました。一方、当該ファンドへの出資比率が1%と著しく低い上に、最大のファンドであるMCo1号投資事業有限責任組合からの投資及び回収といった活動はほぼ終了しております。また、MCo3号投資事業有限責任組合からの投資もかなり進んだことから、今後のファンドレイズを含むアセットマネジメント事業については当社グループからの出資比率を減らした新会社での展開を企図しております。こうしたことから、当該ファンドを連結の範囲に含めることは利害関係者の判断を著しく誤らせるおそれ大きいと判断し、連結財務諸表規則第5条第1項第2号の規定に基づき、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

連結対象が大きく変動したことから、下記のように、前第3四半期連結累計期間を当第3四半期連結累計期間と同様にファンド非連結ベース（連結範囲変更後）として比較した場合、アドバイザー売上増加及び株式会社メザニンにおける成功報酬の計上により、売上高（前年同期比38.1%増）、営業利益（同96.4%増）、経常利益（同86.3%増）、四半期純利益（同81.3%増）のいずれにおいても前年同期比で大幅に増加いたしました。

ファンド非連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2014年 第3四半期	9,607	38.1	2,565	96.4	2,547	86.3	1,516	81.3
2013年 第3四半期	6,957	2.1	1,306	8.7	1,367	10.8	836	28.3

(ドメイン別売上)

(単位：百万円)

	2014年 第3四半期	2013年 第3四半期	前期比	増減率 (%)
アドバイザー				
日本	3,006	2,884	121	4.2
米国 *	4,165	2,970	1,194	40.2
アセットマネジメント	2,435	1,102	1,332	120.8
売上高合計	9,607	6,957	2,649	38.1

* その他地域を含む

仮に当第3四半期連結累計期間についてファンド連結ベース（連結範囲変更前）とした場合は以下のとおりです。

ファンド連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2014年 第3四半期	17,816	△4.0	5,611	49.0	5,592	46.2	1,516	81.3
2013年 第3四半期	18,549	136.9	3,764	76.4	3,826	76.7	836	28.3

当第3四半期末における、メザニンファンドによる投資残高は以下のとおりです。

	営業投資有価証券		営業貸付金		合計	
	件	百万円	件	百万円	件	百万円
ファンドによる投資(件数・金額)	3	7,300	3	1,972	6	9,272

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間末における総資産は11,840百万円となり、前連結会計年度末比4,996百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び現金同等物の減少額1,298百万円、営業投資有価証券の減少額4,762百万円、営業貸付金の減少額1,008百万円によるものであり、いずれも主に連結範囲の変更によるものであります。なお、純資産は7,815百万円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の主要事業であるM&Aアドバイザリー事業は、経済環境、株式市況、各国の政治等、様々な要因に影響されます。特に大型案件のクローズのタイミングにより業績が大きく変動することから、業績予想の開示は控えさせていただきます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当社の100%子会社である株式会社メザニンが運営するMCo1号投資事業有限責任組合、MCo2号投資事業有限責任組合及びMCo3号投資事業有限責任組合（以下、ファンド）については、株式会社メザニンが無限責任組合員として業務執行権を有することから、「投資事業組合に対する支配力基準及び影響力基準の適用に関する実務上の取扱い」（企業会計基準委員会実務対応報告第20号）により、実質的に支配していると判定され、2013年12月期までファンドを連結しておりました。しかしながら、ファンド事業開始から数年が経過し、ファンドからの投資実行・回収が年々活発になるに伴い、出資比率が1%程度であるにもかかわらず、ファンドの投資実行・回収の有無に当社グループの連結財政状態・経営成績が大きく左右されるようになってきており、実態から乖離してきております。また、今後設立予定のMCo4号投資事業有限責任組合からは2014年2月に新たなファンド運営会社として設立したMC○株式会社による展開を企図しており、これを機にファンド事業のさらなる拡大が見込まれることから、そのような乖離は一層大きくなることが予想されます。そのため、当社は、第1四半期連結会計期間においてファンドを連結の範囲に含めることが利害関係者の判断を著しく誤らせるおそれが生じたと判断し、連結財務諸表規則第5条第1項第2号の規定に基づき、第1四半期連結会計期間よりファンドを連結の範囲から除外しております。なお、当該連結の範囲の変更は、当四半期連結会計期間の属する連結会計年度の連結財務諸表に重要な影響を与えません。当該影響の概要は、連結貸借対照表の総資産の減少、連結損益計算書の売上高の減少であります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,060	5,762
売掛金	1,154	2,896
有価証券	87	47
営業投資有価証券	5,328	566
営業貸付金	1,008	—
その他	479	839
流動資産合計	15,119	10,111
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	143	117
その他(純額)	95	83
有形固定資産合計	238	200
無形固定資産		
	44	58
投資その他の資産		
投資有価証券	195	231
関係会社株式	91	127
その他	1,145	1,110
投資その他の資産合計	1,433	1,469
固定資産合計	1,717	1,729
資産合計	16,836	11,840

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	268	985
賞与引当金	—	1,923
その他	2,032	842
流動負債合計	2,301	3,751
固定負債		
その他	115	273
固定負債合計	115	273
負債合計	2,417	4,024
純資産の部		
株主資本		
資本金	525	525
資本剰余金	5,248	2,848
利益剰余金	2,486	3,658
自己株式	△2,000	△100
株主資本合計	6,260	6,932
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	8
為替換算調整勘定	134	228
その他の包括利益累計額合計	144	237
新株予約権	608	646
少数株主持分	7,406	—
純資産合計	14,419	7,815
負債純資産合計	16,836	11,840

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	18,549	9,607
売上原価	13,366	5,691
売上総利益	5,182	3,916
販売費及び一般管理費	1,417	1,350
営業利益	3,764	2,565
営業外収益		
受取利息	10	10
受取配当金	35	—
為替差益	14	—
その他	2	1
営業外収益合計	62	12
営業外費用		
為替差損	—	29
その他	1	0
営業外費用合計	1	30
経常利益	3,826	2,547
特別損失		
投資有価証券評価損	—	15
特別損失合計	—	15
税金等調整前四半期純利益	3,826	2,531
法人税等	530	1,015
少数株主損益調整前四半期純利益	3,295	1,516
少数株主利益	2,458	—
四半期純利益	836	1,516

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,295	1,516
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	168	93
その他の包括利益合計	168	92
四半期包括利益	3,464	1,609
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,005	1,609
少数株主に係る四半期包括利益	2,458	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	アドバイザリー事業	アセットマネジメント事業	ファンド非連結計	その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	5,855	—	5,855	12,694	18,549	—	18,549
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,099	1,099	—	1,099	(1,099)	—
計	5,855	1,099	6,954	12,694	19,648	(1,099)	18,549
セグメント利益	722	580	1,302	2,461	3,764	—	3,764

なお、アドバイザリー事業の地域別内訳は以下のとおりです。

	日本 (百万円)	米国 (百万円)	その他 (百万円)	調整額 (百万円)	計 (百万円)
売上高	2,884	2,966	114	(110)	5,855
営業利益	287	425	9	—	722

(注) 1. 「その他」に属する主な国は英国であります。

2. 売上高の調整額は、地域間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	アドバイザー 事業	アセット マネジメント 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	7,171	2,435	9,607	—	9,607
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,171	2,435	9,607	—	9,607
セグメント利益	971	1,594	2,565	—	2,565

なお、アドバイザー事業の地域別内訳は以下のとおりです。

	日本 (百万円)	米国 (百万円)	その他 (百万円)	調整額 (百万円)	計 (百万円)
売上高	3,006	4,161	130	(125)	7,171
営業利益	332	628	10	—	971

(注) 1. 「その他」に属する主な国は英国であります。

2. 売上高の調整額は、地域間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、第1四半期連結会計期間においてファンドを連結の範囲に含めることが利害関係者の判断を著しく誤らせるおそれが生じたと判断し、連結財務諸表規則第5条第1項第2号の規定に基づき、第1四半期連結会計期間よりファンドを連結の範囲から除外しております。これに伴い、報告セグメントは「アドバイザー事業」と「アセットマネジメント事業」の2区分となり、従来ファンド事業に区分しておりました当該ファンドの損益につきましては、当社及び当社連結子会社の出資持分割合に応じて、アセットマネジメント事業の売上高あるいは費用として計上されることとなります。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、連結の範囲から除外したファンド事業につき「その他」として記載しております。当該連結範囲の変更の詳細は、2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動をご参照ください。

4. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、ファンド事業を連結の範囲から除外したことにより、第1四半期連結会計期間より「その他」に区分される資産はなくなります。